

平成24年度 学校評価に係る学校関係者評価書

学校名 北海道おといねっぶ美術工芸高等学校

1 本年度の重点目標

2 本年度の経営方針

- (1) 基本的生活習慣の確立と学習習慣の定着を図る。
- (2) 生徒一人ひとりの個性を生かした造形教育を推進する。
- (3) 生徒の自主活動の推進を図る。
- (4) 魅力ある教育活動の発展充実を目指し研修や実践に努める。

- (1) 基本的生活習慣の育成と学習習慣の定着を図る。
- (2) 生徒一人ひとりの創造力を大切に造形教育の推進を図る。
- (3) 学校や寄宿舎での自主活動の推進を図る。
- (4) 教職員の計画的な研修活動の推進を図る。

学校関係者評価委員会
学校評議員

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野・領域	評価項目	達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
学校経営	(1) 創造力を育成し人間力を高める教育を実践し、夢を語り活力を育む学校づくりを推進する。	B	B	○高大連携、国際理解、地域連携を相互に関連づけ、教育課程との連動を深め、教育内容の充実を図る。	B	B
	(2) 高大連携教育、国際理解教育、地域連携教育等により教育の質的向上を図る。	B	B			
評価者の意見等	生徒の様子、教職員の取り組み等をみていると、もっとAの評価が多くてよいのではないかと。					
学習指導	(1) 生徒一人ひとりの実態に即した学習指導により、基礎学力の定着に努める。	B	B	○一層の授業改善と寮での学習習慣の定着により、基礎学力の向上を図る。 ○情報機器や図書を積極的に活用することで一人ひとりの創造力を高める。	B	B
	(2) 多様な生徒に対応する教材の開発や指導方法の工夫により、自ら学ぶ意欲を喚起し個性の伸長に努める。	B	B			
	(3) 高大連携教育や国際理解教育の推進を図り、美術工芸教育・普通科教育の深化に努める。	B	B			
	(4) 情報教育や図書教育の充実を図り、豊かな人間性の育成に努める。	B	B			
評価者の意見等	美術・工芸以外の教科も、しっかりとした基礎学力をつけるべきである。					
生徒指導	(1) 全教職員の共通理解と実践により、基本的生活習慣の定着に努める。	B	B	○学校と寮の連携による、組織的な教育相談活動を行い、問題の早期発見と解決を図る。 ○スクールカウンセラー及び外部講師による研修を充実させ、カウンセリング能力の向上を図る。	A	B
	(2) 地域の特色を生かした特別活動の充実を図り、生徒の自主性や自律性の育成に努める。	B	B			
	(3) 教育相談活動を充実し、カウンセリング能力の向上を図ることで、多面的な生徒理解を深め、いじめ等も含めた問題の早期発見と解決に努める。	B	B			
評価者の意見等	着実な計画やプランは、次のステップのためには必要であり、今後の努力に期待したい。					
進路指導	(1) 進路意識を高め、自己実現に向けて努力する態度の育成に努める。	B	B	○1年次からキャリア教育の組織的・計画的な推進を図る。 ○学校見学、インターンシップ等への積極的な取り組みにより、個に応じた進路実現を図る。	A	A
	(2) 自己理解を深め、個性や能力・適性に応じて早期に進路目標を設定できるように努める。	B	B			
	(3) 個に応じた職場開拓や情報収集を図り、進路実現に努める。	B	B			
評価者の意見等	道外の国立大学にも、どんどんチャレンジさせてやりたい。					
健康安全指導	(1) 健康な生活を送るために必要な知識や態度を身につけ、主体的に心身の健康を自己管理できる生徒の育成に努める。	B	B	○コミュニケーション能力を向上させ必要な情報を整理する力を育成し、心身の健康を自己管理させる。 ○一人ひとりの危機管理意識を高めさせ、組織的な安全教育を推進する。 ○校内委員会を充実させ、安心・安全な教育環境の充実に努める。	A	A
	(2) 全教育活動を通して安全教育（作業・余暇・交通）を徹底させ、適切な生活行動ができるよう指導に努める。	B	B			
	(3) 校内内外の清掃美化や施設設備の保全を図り、明るく快適な教育環境づくりに努める。	B	B			
評価者の意見等	コミュニケーション能力を高めるには、寮のような生活環境が大切である。					
組織運営	(1) 学校教育目標達成のため、教職員の意識統一が図られ、教育活動に協働体制がとられた。	B	B	○PDCAサイクルで行事等を細かく検証し、協働体制を進展させる。 ○分掌・学年間の連携を密にした取組を推進し、組織的な学校運営を推進する。	A	A
	(2) 各分掌間の連携が適切になされた。	B	B			
	(3) 特色ある学校を目指して創意工夫をこらした学校運営がなされた。	B	B			
評価者の意見等	PDCAサイクルを積極的に取り入れ、自信を持って評価を出していかないといけない。					
研修	(1) 教員としての資質能力を高める校内研修が充実していた。	B	C	○学校課題に対応した校内研修の充実を図り、計画的に推進する。	A	A
	(2) 研究協議会等の校外での研修成果が学校全体に還元された。	B	B			
評価者の意見等	北大の研究林と連携した、動物や植物について学ぶような教職員の研修を行ってはどうか。					
保護者、地域住民等との連携	(1) 保護者や地域に対して本校の取り組みを十分に情報発信することができた。	B	B	○ホームページの内容をさらに充実させ、最新の情報発信を積極的に行う。 ○PTAだけでなく、おと高だよりを充実させ、学校とPTA活動、地域との連携を深める。	A	A
	(2) 保護者や地域からの意見を聴き、積極的に学校改善に役立てることができた。	B	B			
	(3) 保護者との連携を図りながら、充実したPTA活動が展開された。	B	B			
評価者の意見等	地域全体で生徒たちを育てる環境にさらに期待したい。					